

加工食品の原料原産地表示に対する要望

平成28年3月1日

農林水産省

加工食品の原料原産地表示に対する要望(抜粋) (1)

JA

○JA全中(平成27年11月6日)

- ・国産農畜産物に信頼を寄せる消費者の選択に資するよう、外食・インスタ加工における原料原産地などの消費者への情報開示を徹底すること。
- ・加工食品の原料原産地表示の表示基準の見直しを早急に行い、速やかに**原料原産地表示義務の拡大**を実現すること。

○JA北海道中央会(平成27年11月5日)

- ・(全般)**原料原産地表示の拡充**など、消費者が一目で国産農畜産物と認識し、適正な選択に資する制度の構築と、食の安全・安心に係る現行制度の堅持ならびに、実効性のある需要拡大対策の創設
- ・(野菜・果樹)**加工品の原料原産地表示の義務化**。
- ・(酪農・畜産)原料原産地表示の外食等への適用や**加工食品における対象拡大**など消費者の選択に資する分かりやすい表示制度を構築すること。
- ・(豆類)**加糖調製品及び2次加工品**に対する原料原産地表示を明確化すること。

○JA北海道中央会(平成27年11月21日)

- ・国産農畜産物に信頼を寄せる消費者の選択に資するよう、**全ての食品に原料原産地表示を義務付ける**こと。

○JA全中(平成27年12月3日)

- ・消費者の選択に資するよう、外食・インスタ加工における原料原産地表示の徹底や、**加工食品の原料原産地表示義務の拡大**をすすめるともに、表示の拡大に取り組む事業者に対する支援を行うこと。

○鹿児島県農協青壮年部組織協議会(平成28年2月17日)

- ・国内外消費者の評価の高まりを追い風として、国内農畜産物の競争力を維持するために、**加工食品原材料に対する原産地表示義務の制度化**を要請

事業者団体

○食品産業センター・食品産業中央協議会(平成28年1月25日)

- ・加工食品の原料原産地の義務的表示の拡大については、消費者、関係事業者双方にとって十分な理解が得られるよう、**実態を踏まえた適切かつ慎重な検討が必要**

○日本パン工業会・全日本パン協同組合連合会(平成28年1月19日)

- ・製パン企業において、責任を持って小麦粉の原料原産地表示をすることはできない。

食肉関係

○日本の畜産ネットワーク(平成27年10月23日、11月6日)

- ・消費者対策として、正確な情報を消費者に伝えるため、**加工品、調製品、中食・外食産業等**に対する広範で厳密な原産地表示の実施等表示の適正化等

○日本養鶏協会(平成27年10月23日)

- ・消費者の国産志向に答えるべく、**鶏卵製品のみならず、中食・外食での使用食材の原産国表示**の徹底を可能とする方策

○日本養豚協会(平成27年10月26日、11月6日、12月4日、8日)

- (10月26日)現行の食品表示法では表示義務のない**輸入豚肉加工品や、外食産業において使用する豚肉等**に対して、原産国表示を法律で定める事(11月6日)(中略)併せて、**輸入豚肉原産地表示等を義務化**すること
- (12月4日、8日)現行の食品表示法では表示義務はないが、国民の関心が高い**輸入豚肉加工品や、中食・外食産業において使用する豚肉等**に対し、原産国表示を義務化すること

○日本食鳥協会(平成27年11月6日、11月11日)

- ・輸入鶏肉の大宗が使用され、現行食品表示法では表示義務がない外食(中食を含む)及び**加工品**について、消費者の適切な選択に資するため、**原産国表示を義務付ける**。

○JA鹿児島県中央会(平成27年10月29日)

- ・**牛タン・ハラミなどの牛肉関連製品やソーセージ等豚肉調製品**の関税が撤廃されることにより、安価な牛肉関連製品や加工品仕向けの低価格豚肉の輸入が増加することが予想されることから、消費者への選択情報提供を強化し、すべての食肉の安心・安全に対する更なる理解を深めるために、加工食品(弁当含む)、外食の原産地表示を法制化(義務化)すること

その他

○日本園芸農業協同組合連合会(平成27年11月10日)

- ・**国産果実と輸入果実の差別化**を図るため、原料原産地表示の義務化を早急を実施すること。

○全漁連(平成27年11月6日)

- ・**原産地表示の拡充・強化**

○全国漁連のり事業推進協議会(平成28年2月23日)

- ・国産のりに信頼を寄せる消費者の選択に資するよう、**おにぎりや巻き寿司等に使用されるのりの原料原産地表示を義務化**すること。

加工食品の原料原産地表示に対する要望(抜粋) (2)

各地域における説明会(農林水産省主催)において出た意見

○OTPP大筋合意についての関東ブロック意見交換会 (園芸・地域特産関係:平成27年10月21日)

・原産地表示が実施されている中、**ホテルのバイキング食材では産地表示がなされていない**が、食の安全の観点から実施できないか。

○OTPP大筋合意についての近畿ブロック意見交換会 (園芸関係:平成27年10月21日)

・農家には不安があり、目に見える形の対策をお願いしたい。例えば、**加工品の国産と輸入を表示で分かるようにする**など。

○OTPP大筋合意についての北海道ブロック意見交換会 (園芸・特産関係:平成27年10月27日)

・国産野菜の優位性を発揮するため、**国産と外国産が明確に区別**できるように、原料原産地表示への対応をお願いしたい。

○農政新時代キャラバン関東ブロック説明会 (総論:平成28年1月8日)

・地元農産物を使った加工品をブランド化し、地産地消を進めていくためには、**分かりやすい表示方法**が必要。
・地産地消を進める上でも、**輸入畜産物と国産畜産物の違いを説明できる原料原産地表示**を農政サイドが中心になって精力的に進めてほしい。

○農政新時代キャラバン北陸ブロック説明会 (畜産分科会:平成28年1月14日)

・**原料原産地表示**について、しっかり取り組んでもらいたい。

○農政新時代キャラバン埼玉県説明会 (総論:平成28年1月26日)

・輸入鶏卵・輸入鶏肉については加工品にまわされている。国内流通に関しては影響がないとの説明だが、食の安全という部分の中で、原材料の産地表示として、**国産品、輸入品の表示**をどのようにできるのか。

○農政新時代キャラバン宮崎県説明会 (園芸分科会:平成28年1月26日)

・TPPにより輸入、輸出の増加が見込まれるが、他省庁とも連携して、**原産地表示**等の諸問題に対応していただきたい。

○農政新時代キャラバン広島県説明会 (園芸分科会:平成28年1月28日)

・消費者が国産か外国産かがわかるようにする**必要がある**。**加工・流通会社が積極的に取り組めるように**してほしい。